

昨日のメルマガでチラッと言及しましたが

『利確』に関しては、『損切り』と違ってチャートの動きから逆算して決めるのが難しいです。

なぜかという「この先どこまで値が伸びるか」というのは

テクニカル分析を用いたとしても 推測 しかできないからです。

また、利確を大きく引っ張るほど、当然ながらポジション保有時間が長くなるので

『相場の不確実性』から来る「先の値動きがどうなるか分からない」リスクが増大します。

また、相場というのは突然サプライズで予想もしない動きをする事もあります。

ここ10年以内で見てもスイスショック、ギリシャショック、アップルショックなど、、

振り返ると突然のボラの増大などは何度も起こっていますよね。

この急変動に巻き込まれて大きな損を喰らうと、ひとたまりもありません。

そのため、昔はエントリー後の次の節目に来る長期のレジサポまで保有するスイングスタイルだったのを

現在は1回毎の確定利益を極力確保出来るよう、最初に言ったとおり『取ったリスクに対するリワード』で利確することを徹底する方法を採用しています。

僕が今採用している短期デイトレの考え方は、保有時間が短くなる分、1回ごとの利幅は小さくなりますが

自分のトレードの勝率がある程度分かっているならば、どの程度のリスクリワード比でトレードすると

『トータル利益がプラスになるか』がある程度分かるので

無理に含み益を引っ張らなくても、決めたリワードを確保するトレードを繰り返せば勝てるという自信をもって

割り切ったトレードが出来るようになります。

ちなみに、勝率が50%を超えているのであれば、計算上【リスクリワード比1:2以上】のトレードを繰り返す限り負け越す事がほぼなくなります。

このイメージを実感してもらうために、大分前のメルマガで確率論のモデルとして

【サイコロゲーム】を紹介しているので、最近メルマガを読み始めた人はチェックしてみてくださいね。

▼【51】サイコロゲームの結果▼

https://kuro-gaki.com/muhai_mail_2022/220220k5m7w.pdf

この考え方は、以前もメルマガで言及した

コントロールできないリスク = 時間と共に値動きの不確実性が増大する問題

を最小化するための対策です。

取引ロットが大きくなる程、この「コントロールできないリスク」の要素が大きな不安材料になります。

なので、資金量に応じたロットで取引しつつも、いつもと同じメンタルコンディションでトレードをするには

「コントロールできないリスク」はなるべく減らし、いつも一貫したトレードをやり続けられる状態を作る事。

これが、「1撃何百！何千pips！」とか「1激で〇〇万円！」みたいなトレードよりも、僕の中では代えがたい価値のある『技術』なのです。

この感覚は、とにかく一度体験しないと実感するのが難しいかもしれませんが

僕が『1回1回のトレードを“丁寧に”』と言っているのは、この考えが根底にあるのだということを理解して頂ければ幸いです。